



大田 祐介
水曜会
(35分)

グリーンラインの原付・自動二輪通行止めの解除は

問 グリーンライン(県道後山公園洗谷線)は昭和60年以降、原付・自動二輪通行止めとなっているが、33年が経過した現在は健全なモータースポーツやツーリングを楽しむライダーたちが風光明媚なグリーンライン

を走りたいと望んでいる。本市の大きな観光資源であるグリーンラインを有効利用すべく警察と連携して規制解除に向けて踏み出しているかどうか。

答 本市としては地域住民のご理解や交通の安全性の確保を前提とした規制解除により、新たな魅力的なツーリングルートとなることを期待している。



平松 正人
誠友会
(40分)

経済活動活性化につながる創業支援は

問 ①特定創業支援事業の実績は。
②6次産業化推進の創業支援は。
③福山駅前エリアでの新たな創業支援は。

答 ①特定創業支援事業は、各産業支援機関から創業に係る指導

等を受けることを要件に、会社設立時の登録免許税の軽減や国の助成金の活用ができる制度であり、平成29年度の実績は3件である。
②平成27年度より備後圏域6次産業化ネットワーク会議を立ち上げ圏域が一体となって農林水産業の新たな付加価値の創出と販路の拡大に取り組んでいる。
③平成30年度は、フクビズで創業希望者などが先輩起業家などと創業事例等を共有する場を設けるなど、引き続き、創業支援の充実、強化を図り経済活動の活性化につなげていく。



土屋 知紀
日本共産党
(35分)

教職員の多忙化解消の取り組みを

問 ①タイムカードの導入は。
②平成30年度の取り組みは。
③部活動指導員の導入を。
④健康維持の取り組みの具体は。
⑤仮に残業をゼロにした場合新たに何人の教員が必要か。

毎月集計することとしており、タイムカードの導入は考えていない。
②部活動休養日を土・日のいずれか1日を含めた週2回にするなど引き続き環境整備に取り組む。
③今後示される国や県の補助制度の内容を踏まえ、部活動指導員の配置を検討していく。
④平成30年度からは教職員のストレスチェックの実施や夏季休業中に全小中学校で一斉閉庁日を設けて連続休暇を取得しやすくする。
⑤平成28年度教員勤務実態調査を基にすると、小学校で約500人、中学校で約350人が必要となる。



岡崎 正淳
無所属
(30分)

平成30年度の市政運営方針は

問 ①市長は、論語の「今、汝は画れり」を引き合いに若い世代へ果敢な挑戦を求められたが、若手職員に対する期待は。
②100人委員会等は市民が市の政策形成過程に直接参画する時代の到来を感じさせるが、協働のまちづくりの深化として新

たなキーワードが必要では。
答 ①どうすれば市民の思いに沿うことができるか常に考え、行動し、現場主義に徹して、市民のため、ふるさと福山のために前向きな強い気持ちを大切に、日々の業務に当たることを期待している。
②多様な主体との連携により新たな未来を共に創造していきたいと考えている。協働のまちづくりが深化した先にどのような新しいキーワードが生まれてくるのか楽しみにながら、地域コミュニティの再構築に知恵を絞っていく。

※今、汝は画れり：自分自身に限界を設け、自分自身に言い訳してはいけないと孔子が弟子を諭した言葉。